

# 八幡平市中干プロジェクト 説明会

～「八幡平市中干プロジェクト」って何？～



令和7年12月15日（月）

1回目：13:30～14:30

2回目：15:00～16:00

八幡平市中干プロジェクト



八幡平市  
Hachimantai City



BYWILL



岩手銀行

# そもそも、Jクレジットって何？

Jクレジット制度は、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用することで、CO<sub>2</sub>の排出量削減などを「クレジット」として国が認証する制度です。

## 水稻中干し期間延長で、なぜ温暖化防止になるの？

水田に水を張っている状態では、地中でメタンガス(CH<sub>4</sub>) \*が生成されます。

中干し期間は水を張りませんので、その間はメタンガスが生成されませんので、通常より1週間以上延長することで更にメタンガスの生成が抑止されます。

\*メタンガス(CH<sub>4</sub>)はCO<sub>2</sub>より25倍温室効果が高いガスです。

# どうやって、クレジットが現金化されるの？

G X 促進法により、CO2直接排出量10万トン以上の事業者の参加が義務付けられて、割り当てられた排出量以上を輩出した場合は、負担金の支払いが生じます。

事業者は、負担金の支払いを回避するために、認証された「クレジット」を購入します。

G X 参加義務事業者 (CO2割当量 20万トン/年)

年間排出量30万トン

割当量 20万トン

超過分10万トン

超過した分の「クレジット」を購入する

# 八幡平市中干プロジェクト発足の経緯

市は、株式会社バイウィル（本社：東京都中央区、代表取締役社長：下村 雄一郎）と2023年

8月22日にカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの推進に向けた連携協定を締結し、J-クレジット創出に向けて調査・検証を進めてきました。

その中で、「水稻栽培における中干し期間延長」によるJ-クレジット創出を市が主導して着手することとなり、地域の農家が参加するプログラム型プロジェクト「八幡平市中干プロジェクト」を立ち上げ、手続きを

株式会社バイウィルが受託・代行することになりました。

さらに、株式会社バイウィルと業務提携している株式会社岩手銀行（本社：岩手県盛岡市、代表取締役頭取：岩山徹）が会員募集の支援を行いながら、農家は負担なくJ-クレジット販売による副収入を得られるほか、生産する米については「環境に優しい米」という付加価値を得ることができる仕組みを構築しました。



# 八幡平市中干プロジェクトの目的

## ○地球温暖化の防止

一番の  
目的

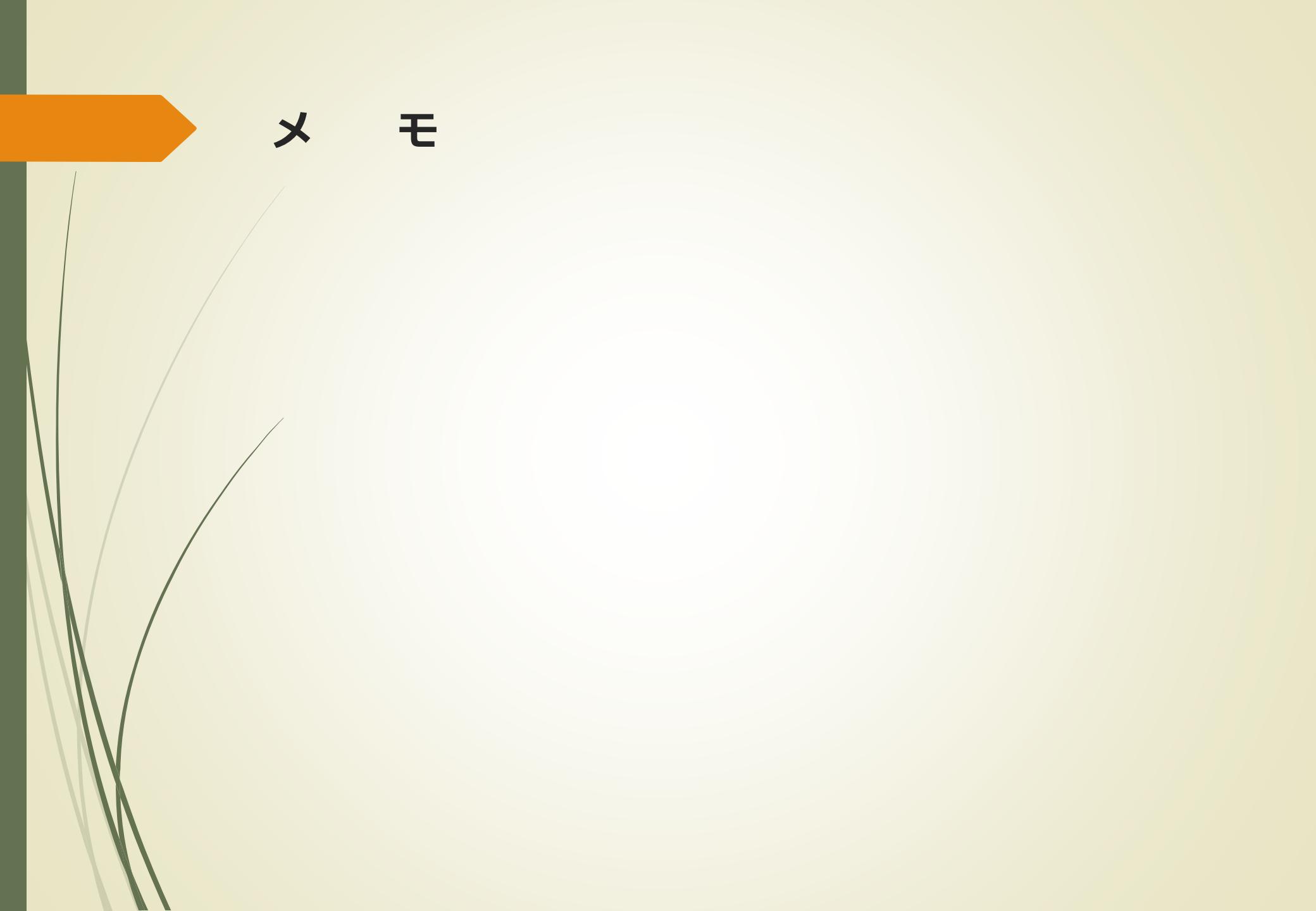
水田 1 ha : 約0.16 t のメタンガス  
(CO2換算 : 4 t) を削減し、近年の異常気象（猛暑・大雨など）の原因となる地球温暖化の防止

## ○農家所得の向上

日本証券取引所 (JPX) : 5,374円/ 1 t (12/9現在)  
1 ha = 4 t = 5,374円 × 4 t = 21,496円

## ○環境貢献による付加価値

「クレジットに参加した水田で栽培された米は、  
「中干期間延長」クレジット参加米（例）」  
と表示して販売することができる



✗

✗